

磨き合う緑陽

令和7年11月4日(火)
各務原市立緑陽中学校
学校便り 第7号

◇ 「仲間と高める」～合唱を通して絆を深めよう～ (生徒指導主事より)

10月は「後期のスタートダッシュ」をテーマに、時間行動キャンペーンや委員会活動を通して、個々の意識を高める取り組みが行われました。生徒一人一人が気づき、行動し、仲間に声をかける姿が多く見られ、集団としての力が育まれた月でした。

11月のキーワードは「仲間と高める」です。合唱交流会を控え、仲間と協力しながら、声や姿で想いを響かせる活動が始まります。合唱には、迫力や美しさ、感動を生み出す力がありますが、同時に個人の努力が見えにくいという難しさもあります。だからこそ、仲間と願いや考えを出し合い、互いに高め合う姿勢が大切です。「Hの法則(個性のつながり)」を意識し、仲間の良さを認め合い、絆を感じながら活動し、協力する楽しさ、仲間への感謝、憧れや学びの気持ちを大切にしていきましょう。合唱を通して、仲間との絆がさらに強くなることを期待しています。

《11月の目標》

★キーワード 『仲間と高める』

★重点 『仲間とつくりあげる合唱』

◎想いを重ね、声でも姿でも響き合い、
誇れる合唱をつくりあげよう!

◎時間を大切に、
先の見通しをもち、すべきことをやりきろう!

◎仲間のことを大切にしたい学び合いをしよう!



◇ 絆を深めた宿泊学習(3年生)

10月23日(木)、24日(金)に宿泊学習に行きました。宿泊学習の大部分が班別行動であったことから、事前に自分たちで計画と予定を立て、時間やルート等を考えて宿泊学習に臨みました。

初日のU.S.Jの班別行動では、かなりの混雑ぶりで事前の計画通りにいかないこともありましたが、生徒たちは仲間と相談しながら柔軟に対応し、限られた時間の中で工夫して楽しむ姿が見られました。

2日目は大阪市内の企業での研修を通して、働くことの意義や社会とのつながりについて学びました。実際の職場を見学し、社員の方々からお話を伺うことで、将来への視野が広がったようです。生徒たちは真剣な表情でメモを取り、質問をする姿が印象的でした。

この2日間を通して、仲間との絆がより深まり、協力することの大切さや社会で生きる力を実感する貴重な経験となりました。帰校後の振り返りでは、「友だちとの思い出が一生の宝物になった」「働く人の姿に感動した」といった声が多く聞かれました。生徒たちの成長を感じる、心温まる宿泊学習となりました。



◇ 職業体験 ～働くことを学ぶ～ (2年生)

10月23日(木)、24日(金)の2日間、各務原市内の事業所で職業体験を行いました。この体験までに訪問する業種について調べ、「何を見るのか」「何を聞くのか」を班ごとに話し合い、準備を進めてきました。

体験先は、保育園、飲食店、製造業など多岐にわたり、それぞれの現場で実際の仕事に触れながら、働くことの意義や大変さ、やりがいを肌で感じました。従業員の方に「仕事で大切にしていることは?」「この仕事を選んだ理由は?」など、生き方や働き方に関する質問を投げかける姿も見られました。

体験後の振り返りでは、「人と関わる仕事の楽しさを知った」「働く人の姿がかっこよかった」「進路を考えるきっかけになった」といった感想が見られました。生徒たちは、働くことの意味を考え、自分の将来に向けて一歩踏み出す貴重な経験をしたようです。

今回の職業体験は、地域の方々の温かいご協力のもとで実現しました。心より感謝申し上げます。

